

## 短期大学の保育者養成

——東洋英和女子短期大学の場合——

幼稚園教諭二級の免許状は短期大学保育科二年のコースを卒業した者に授与される。従って幼稚園教諭の養成機関は短期大学か或はそれ以上の大学の教育を受けた者で所定の単位を修得する事を要する。尚当分の間は特殊のものとして教育大学の指定指導のもとに行われる一年制の高等保育学校が認められている。これも将来は二年制の短期大学の基準にあうように努力する事を奨められている。

戦前は此の種の機関としては殆んどが一年制で、例外的に二、三のものが二年或は三年制を採用していた。従ってその主体をなす一年制の学校では幼稚園で即座に役立ち実施に即応するような教育が中心となされた。

よく間にあう役に立つ教育というのがその主眼とも思われた。

然るに短期大学の設置基準によると「高等学校の教育の基礎の上に二年（又は三年）の実際的な専門教育に重きを置く大学教育を施し、良き社会人を育成することを目的とする。短期大学は一般教育との密接な関係において職業に必須な専門教育を授ける完成教育機関であり……」と示されている。よき社会人としての教養には一般教育が非常に大切で専門教育偏重に陥ることなく、最低六十二単位の中一般教育十二単位の修得を要求されている。当初はこの一般教育は十八単位を要求されたのであるが、その後限られた時間の中

に専門教育を充実させる意味に於て十二単位とされた。然し充実した専門教育の為にはこの二ケ年の期間は充分とは言えない。あれももう少しやらせたい、これももう少しというような事が多く学生は仲々忙しいのが実情である。さればといって三年制は幼稚園教諭になる為には余り長すぎて学生の方の要求に副わない。その為には単位の配当に工夫を凝らし、専門教育と一般教育との連関を充分に考へなければならぬ。例えば心理学とか自然科学関係科目ではそれぞれ教職課程の心理学及び専門科目の幼児の自然研究等と相関連する処が多い。一方一般教育、専門教育、教職課程にはそれぞれ基準があつて別個に単位を要求されているので茲に短期大学としての苦心があり、又夫々の学校の特徴も出て来るのである。

次に教授の問題であるが、幼児を指導する立場から音楽、図画工作、自然研究等の分野には文部省の要求する基礎資格を持つ人では余りに専門的である。その為学生達は卒業後幼児教育の實際に当つては余程応用工夫の才能に恵まれたものでなければ困るのではないかと思う。幼児教育の場でこの道に多年精進

工夫を重ねた有能な指導者は教授としての基準の資格を欠く為に文部省の認可を得られないということも屢々ある。この問題は戦前は幼稚園教育というものが文部省の基準の中になく、すべて私立学校に委されており、戦後急に時代の要求とアメリカの勸奨によって短期大学という一つの規格の中に一般的に律せられた処に無理があると思う。

然し又一面学校教育が小学校を以て初められた制度から次第に幼稚園をも義務教育の中に加えようとする気配さえ感じられて来た。

そして幼児教育の重要性、それに対する心理学的教育学的な取扱いについての一属深い研究が促進され、短期大学の教育が実際の職業教育と同時に幼児教育の根本に入つて研究するという面に道を開いて来たようである。今後は短期大学の卒業生の中から更に進んで幼児教育の根本にまで掘り下げて研究する人々の出る事を期待する。

筆者の關係している短期大学は短期大学となつてからは僅かに六年であるが、この種の教育機関としては五十年の歴史をもち今後もこの分野に貢献したいと念願している。この短期大学の母体である法人が基督教の趣旨に

基く学園である為この短大も当初は教育と同時に伝道の使命をもち、基督教の教会に附属する幼稚園の教師養成を目的として居り、従つて学生も既に受洗している者か或は求道者で在学中に受洗すると考えられる者を受け入れていた。現在短期大学となつてからは公の機関であるから信仰の有無を条件とする事なく、広く一般に門戸を開放している。一般基督教主義の大学が実施しているように礼拝を守り、一般教育の中には聖書学科も加え、又卒業生も主として教会関係の職場に進む者が多い。献身的に学生の指導に當つた外人教師の伝統を引いて宗教的情操を多分に含んでいるが、その中で学生達は熱心に研究に當つている。

その内容について、三を次に述べるが、此の中から読者の参考となるものがあれば幸である。

観察及び見学は現在第一学年で行うが、このやり方については従来よりも科学的な方法で行うように努めている。又本年後期からは学生を二人宛組み合せて幼児の個人観察をやらせ、児童研究の教師がカウンセリングにより指導している。

教育実習はややもすると技術的な面のみに陥り易いものであるが、実習に當つては従来のようにいたつたらに毎日の時間をかけて所謂経験を得る丈ではなく、これを講義や研究と緊密に連絡させる事によって基礎的なものを把握するように望んでいる。このようにして在学中に学生が幼児教育に対する研究態度を養う事が大切である。幸いに本校では一年の生徒数を四十名以下に限り、生に対する教師の個人指導は割合懇切に行われている。

次に幼稚園教育に大きな部面をもつ音楽については二ヶ年間に専門科目として二単位(必修) 教職に関する科目として二単位(必修) 音楽理論その他として選択六単位を設けてある。又実技としてのピアノ練習に要する時間は相当莫大なのである。本校はこのようにして昔から音楽教育に非常な力を注いで来たが、近年になつて入学試験にピアノ実技を廃止するようになった。それは幼児を保育する為に最も適したピアノの弾き方を入学後に指導する為である。最近幼稚園で行う歌やリズムは音楽としての技術を進歩させる事よりも子供が社会人として円満な発達を遂げる為

の一助として考えられるようになって来た。

その為幼稚園の音楽は以前と違った意義をもつようになって来たと言える。例えば歌が上手に歌えるためには是非ともピアノの伴奏が充分でなければならなかったが、此の頃のようには子供の創造的表現力を重んじるのであれば、あなたがちピアノがなくとも適当な打楽器をこれにあてる事も出来得るわけである。即ち教師がピアノを上手に弾ける事も望ましいが、それよりも音楽全般に亘つての理解とそれが幼児教育に於てどのような意義があるかという事を知っていなければならないと思ふ。

次に教科の中には必修と選択の科目があるが、実際には時間割と実習の関係等から選択の自由をあまり持つ事が出来ない。しかし出来得るならば心理学、児童研究及び教職に関する科目で重要な科目の理論的な面をしかりと充実させたいものである。それには教授陣の充実と整備された図書館が必要になる。

この方面について目下懸命に努力を払っている。

教科の次に考えられる問題は短期大学で新しい教育方法の教育を受けた学生が卒業後の

職場でそれを実施するに当って可成りの困難

を感じる点である。即ち幼稚園の経営者が幼児教育についての教育方法に無理解なところが相当あるという事である。一から十迄子供のおもりが主であり、送り迎えをしたり、授業料まで徴収集金に歩いたり、或は二百名に余る子供を一室で一斉に保育しなければならぬような所ではこれで真の教育が与えられないであろうか。このようにして学生が遂に目の先の安易な方法に堕ちてしまうような事のないようにしたいものである。

最後にこれは短期大学学生に限られた問題ではないが、最近の学生氣質を云々して研究心に欠けているとか軽薄であるとかいう声大きく短大保育科に学ぶ学生は将来の目標が明確なので概して真面目で使命感を持つ者が多い。純真な幼児の教育に大きな責任をもつ者はそれ丈重い責任を感じるが、一面生き甲斐のある真剣に取り組んで行ける尊い職場であると思ふ。

(東洋英和短大 黒田成子記)

## 新 刊 案 内

文 学 博 士 武 政 太 郎 先生 監 修  
玉 成 高 等 保 育 学 校 長 有 院 扁 良 先生 校 閲

玉成高等保育学校幼児保育研究会編

### フレーベルの恩物の理論と<sup>その</sup>実際

A5判 330頁  
定 価 450円  
箱 上 入 製 本  
下 32円

フレーベル先生が創造された恩物について、著者の多年の研究の結果が、平明に説かれている。恩物の研究家、ならびに幼児教育者必読の書!

株式会社 フレーベル館